

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■ 設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- ・約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない
オート便器洗浄

- 1 メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ
▼
- 4 ▲ で「オート設定」を選ぶ
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ
●を押す

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄する/しない
便ふた閉止後洗浄モード

- 1 メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ
▼
- 4 ▲ で「便ふた閉止後洗浄モード」を選ぶ
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ
●を押す

オートふた開閉

自動で便器洗浄するまでの時間を「水が流れるまでの時間」で変更する ※1・2
水が流れるまでの時間

- 1 メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ
▼
- 4 ▲ で「水が流れるまで」を選ぶ
▼
- 5 ◀▶ で「短い/標準/長い」を選ぶ
●を押す

自動で便ふたを開閉する/しない
オートふた開閉

- 1 メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ
▼
- 3 ▲ で「オートふた開閉」を選ぶ
▼
- 4 ▲ で「オート設定」を選ぶ
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ
●を押す

※1 「オート便器洗浄」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に『H』なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に『H』あり

流動方式



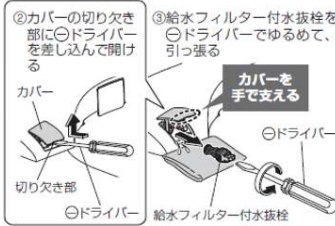


ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法

便器の水たまり面を下げる (水の跡を速く拭き取ったり排便のときなど) 水面下げる	便器とウォシュレットの水を 一定の間隔で自動で流す 凍結防止	電子音を 鳴らす/鳴らさない 電子音
<p>1 <input type="checkbox"/> メニュー/戻る 押す</p> <p>2 ▲ で「その他設定」 ▼ を選ぶ</p>		
<p>3 ▲ で「水面下げる」 ▼ を選ぶ</p> <p>押す</p> <p>便器内の水が流れて 低い水位でたまる 〈設定完了〉 (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 便器が洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、再度設定してください。 	<p>3 ▲ で「凍結防止」 ▼ を選ぶ</p> <p>4 ◀ ▶ で「入/切」 を選ば</p> <p><「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗 浄して凍結を防止します。</p> <p>押す</p> <p>数分間隔で 凍結防止 設定する? はい</p> <p>押す</p> <p>凍結防止を 入に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p>	<p>3 ▲ で「電子音」 ▼ を選ぶ</p> <p>4 ◀ ▶ で「入/切」 を選ば</p> <p>押す</p> <p>電子音を 切に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p>

ヒーター付便器・水抜併用方式



- 1** 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 - 止水栓は開けたままにしておいてください。
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)
 - 2**  押す
 - 給水管の圧抜き
 - 3** 電源プラグを抜く
 - 4** 配管の水を抜く
①便座・便ふたを開ける

 - ②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける
 - ③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る
 - 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを開める
①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
 ②ドライバーで確実に締める

 - ②「カチッ」と音がするまで押し込む
 - 6** 電源プラグを差し込む
 - 「運転」ランプが点灯する
 - 7**  を押してタンクの水を抜く^{※1}
 - 8** 便座温度を「高」にする
 - 保温のため、作業後は便座・便ふたを開けておく
- 再度ウォッシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。
- お知らせ**
- ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 - 凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあとと便器洗浄します。




別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1** ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
 止水栓または元栓を開める
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 - 止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2**  を押してタンクの水を抜く^{※1}
- 3**  押す
 - 給水管の圧抜き
- 4** 電源プラグを抜く
- 5** 配管の水を抜く
 - 凍結のおそれがあるときは
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
 - 再度ウォッシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1** 止水栓または元栓を開ける
 または、水抜栓を操作して、給水する
 - 配管やウォッシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
 - 2** 電源プラグを抜いているときは
 電源プラグをコンセントに差し込む
 - 「運転」ランプが点灯する
 - 3** ①ノズルから水を出す
 (1) 便座の左側を押したまま、
 (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (3) 手を便座からはなす
 ②  押す
 - タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
 (タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
 - 残水が凍結して水が出ないとき
 ・トイレ内を暖め、お湯に濡した布で給水ホースと止水栓を温める
 - 4** 便器に水がたまってから、もう一度  を押す
- 
- 紙コップ
水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)